



令和5年5月24日
一般社団法人家畜改良事業団
情報分析センター

令和4年度乳用牛群能力検定成績速報について

家畜改良事業団（理事長 富田育稔）では、乳用牛群検定全国協議会と連携して、全国の牛群検定成績の集計・分析を行っています。この度、令和4年度における乳用牛群能力検定成績速報をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。

1. 令和4年の305日乳量は、9,939kgと過去最も高い結果となりました。
2. 繁殖成績は、分娩間隔が426日（中央値402日）と昨年から3日短縮し、最も分娩間隔が長かった平成23年からは12日間短縮しました。
3. 産子の性別をみると、北海道ではメス産子が58.4%、都府県では55.9%となり、性選別精液の利用が増えていることがうかがえます。（昨年度は北海道57.7%、都府県55.8%）

令和4年度乳用牛群能力検定成績のまとめ（概況・速報）

URL <http://liaj.lin.gr.jp/japanese/newmilk/index.html>

「乳牛最新情報」で検索

<お問い合わせ先>

一般社団法人 家畜改良事業団
情報分析センター
東京都江東区冬木11-17イシマビル
担 当 山口茂樹(やまぐち しげき)
橋口昌弘(はしぐち まさひろ)
TEL: 03-5621-8921
FAX: 03-5621-8922
E-mail: toiwase@liaj.or.jp